

山の水を守る理由

横浜市立篠原中学校

三年 三島 千知

山の水は守らなければいけない。僕がそう思うのには理由がある。僕の祖父母は長野県に住んでいる。祖父は本業ではないが畑を借りて野菜を育てていて、帰省すると夕食に祖父が育てた野菜がでてくる。長野に行くときその畑に行く。田んぼもあってとても広い。僕は生き物が好きなので、長野に行くとよくその畑に生き物を観察しに行く。そこでは、いろいろな生き物を見ることが出来る。生き物は季節ごとに田んぼや畑と一緒に姿を変えていく。カエルやトンボ、トカゲなどさまざまな生き物がいて、見ているだけで楽しい。そこでは山から水をひいて野菜を育てているそうだ。つまり、山のきれいな水がないと生き物や野菜たちは生きていけないのだ。生き物や野菜を守るためには山のきれいな水を守って

いかなくはない。では山の水を守るためにできることは何だろうか。まず、山は水資源を供給するだけでなく、洪水の緩和や水質の浄化など、いろんな水に関わる機能を持っている。つまり、山の水を守ることは必然的に水源地である山も守ることになる。それらを守るには間伐などの森林管理をしっかりする、森林へのゴミの不法投棄を防ぐ、森林火災などの自然災害を防ぐなどがある。これらを行うことによって森林の健康を維持し、水循環を正常に保ち、森林環境を汚染させないなど、森林を保護することが出来る。次に節水。山の水を守ることもができてそれを無駄に使っては元も子もない。僕はいつもシャワーを浴びるとき、歯を磨くとき、手を洗うときなど、無駄に使ってしまっている。今回この作文を書くにあたって節水を心がけていきたい。水は循環するので川や池などを汚さないということも大切だ。夏に長野に行くと、よく山へキャンプに行き、キャンプ場の炊事場で食器洗いなどをする。山を、汚い水で汚さないため、洗剤を使わないように心がけていきたい。山の水がなくなったら農業用水や飲料水の不足、生活用水の制限、川や池の生態系への影響、治水機能の低下で水害や洪水

のリスクが高まるなど、多大な影響がおきる。

このように山の水を守ることで、沢山の人々の生活や、生態系、畑や田んぼなどを守ることができる。僕たちの生活を守るためにも、山の水は守らなくてはいけないものなのだ。